

# 1. 香川県小豆郡小豆島町における 文化遺産学フィールド実習について

松岡 茉陽琉

## 1. 実習のねらい

地域の文化遺産の調査や保存、活用についての理解を深めるためには、実地調査を経験し、実際に文化遺産の保存・活用に携わる行政担当者や地域住民の「生の声」を聞くことが不可欠である。本学科開講の「文化遺産学フィールド実習」は、次年度から各ゼミに所属することとなる学部2回生がフィールドワークの初歩を経験できる集中講義で、毎年夏季休業を利用して実地調査をおこなっている。受講者は自身の関心にもとづきさまざまな文化遺産に関わる課題を設定し、担当教員による指導のもと、事前学習をおこなった上で調査に臨む。

2023年度は小豆島町教育委員会の全面的な協力のもと行った。令和5年台風第7号の発生のため、8月に予定していた2泊3日の実習を延期し、9月15・16日の2日間に期間を縮小しながらの実施となった。小豆島町の文化財には、中山の舞台（国指定重要有形民俗文化財）、大坂城石垣石丁場跡 小豆島石丁場跡（国指定史跡）などがある。その他、小豆島素麺の製造技術や小豆島八十八か所霊場の巡礼文化など未指定の文化財も豊富に存在している。

現地での実習では、参加者一同で小豆島町の文化遺産を見学し、町教育委員会のこれまでの取り組みを聞くとともに、受講者が事前学習で関心を持った個別の文化遺産について実地調査を実施した。次章以降に掲載される報告は、これらの調査成果について述べるものである。

参加者 諫早直人、上杉和央、岸泰子、東昇、菱田哲郎（以上教員）

松岡茉陽琉（博士前期課程1回生）、岩井天、栗田晋吾、崎浜七夏、鮫島聖斗、  
藤井まつり、和田茜、和田佳織（以上3回生）

また、実習中に見学した蓮華寺境内社である熊野三所大権現については、早急な保護が必要であると判断し、12月11日に追加調査を実施した。建造物調査（IV部3章）にて成果報告と合わせて、熊野三所大権現の歴史を検討するために背後の斜面地の踏査をおこなったが、修行の場や旧境内地を確認することはできなかった。

追加調査参加者 上杉和央、岸泰子、菱田哲郎

松岡茉陽琉、石川達葵（3回生）

## 2. 主要な行程

・9月15日（金）

13：40 中山の舞台の修理現場、春日神社の見学、定栈敷の実測

16：00 明王寺釈迦堂の見学

・ 9月16日(土)

09:00 中山千枚田、蓮華寺、浄土寺・地藏寺堂の見学

10:30 中山地区の石造物調査(きりしたん灯籠、八木家住宅石造物)

13:00 中山ふる里会館にて、中山の生業の聞き取り調査

15:00 大坂城石垣石丁場跡 小豆島石丁場跡の見学

・ 12月11日(月)

09:30 【建築】熊野三所大権現の実測 【考古・地理】熊野権現背後の斜面地踏査

11:00 【建築】春日神社宮殿の実測

13:30 【共通】醬の郷の近代化産業遺産群の見学

謝辞

本実習ならびに追加調査の実施に際し、小豆島町の方々・機関には大変お世話になりました。末尾ながら御礼申し上げます。



写真1 調査風景



写真2 調査風景



写真3 調査風景



写真4 調査風景



写真5 調査風景



写真6 調査風景

#### 編集後記

フィールド集報の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの考古・建築・地理・文化情報の合同実習メニューとして学生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっている。

今年度は、3年ぶりに多様な場所・フィールドで調査をおこなうことができた。調査時だけでなくその後の作業においても多くの方々からご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。

海外の調査も徐々にではあるが再開されるようになった。来年度はまた違うところに行きたいと思う今日この頃である。(き)

---

京都府立大学文学部歴史学科

## フィールド調査集報 第10号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2024年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2

---